

平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4572 URL http://www.carnabio.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)吉野公一郎 (TEL)078(302)7075
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	1,134	270.7	679	—	704	—	666	—
26年12月期第2四半期	306	△10.4	△277	—	△257	—	△257	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 786百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 △214百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	78.73	76.98
26年12月期第2四半期	△31.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	2,495	2,133	85.2
26年12月期	1,221	830	67.2

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,125百万円 26年12月期 820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,532	150.5	372	—	395	—	364	—	42.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年12月期 2 Q	8,848,100株	26年12月期	8,318,100株
② 期末自己株式数	一株	26年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	8,464,094株	26年12月期 2 Q	8,265,768株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、米国経済は緩やかな景気回復を続け、欧州でも緩やかな回復傾向を示し、わが国経済も雇用情勢の改善等から回復傾向にあるものの、ギリシャの債務不履行問題や中国における株式市場の大幅下落等により先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが属する製薬業界におきましては、引き続き大手製薬企業における大型医薬品の特許切れに伴う収益力の低下から、新たな大型医薬品の開発が急がれており、新薬を生み出す研究開発競争は激しい様相を呈しております。このような環境の中で、大手製薬企業は自社研究に積極的に取り組むだけでなく、当社をはじめとするバイオベンチャーが研究開発した新薬候補化合物の導入等創薬パイプラインの強化を加速させており、当社が研究開発を行っている創薬テーマについても、継続して高い注目を集めてまいりました。

このような外部環境の中、当社グループは、キナーゼ創薬に係る創薬基盤技術を核とした創薬支援事業並びに創薬事業を積極的に展開し、事業の拡大を図ってまいりました。

セグメント別には、当社における最重要経営課題であった創薬事業における当社創薬パイプラインの導出が実現し、ジョンソン・エンド・ジョンソンの医療用医薬品部門であるヤンセン・バイオテック社とライセンス契約を締結いたしました。また、これら導出活動と平行して、重点疾患領域であるガン領域を中心としたキナーゼ阻害薬の研究開発を積極的に行ってまいりました。さらに、創薬支援事業におきましては、小野薬品工業株式会社との大規模委受託契約に基づく受託試験の確実な遂行を図るとともに、新たな大規模キナーゼプロファイリング・スクリーニングサービスの委受託契約の獲得に向けた活動を国内及び北米市場で積極的に展開してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,134百万円（前年同四半期比270.7%増）、営業利益は679百万円（前年同四半期は277百万円の損失）、経常利益は704百万円（前年同四半期は257百万円の損失）、四半期純利益は666百万円（前年同四半期は257百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

①創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービス及びセルベースアッセイサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は520百万円（前年同四半期比69.9%増）、営業利益は278百万円（前年同四半期比630.9%増）となりました。売上高及び営業利益の大幅増加は、小野薬品工業株式会社との大規模委受託契約に基づく売上が寄与したものであります。売上高の内訳は、国内売上が335百万円（前年同四半期比98.6%増）、北米地域は144百万円（前年同四半期比62.4%増）、欧州地域は33百万円（前年同四半期比17.2%減）、その他地域は6百万円（前年同四半期比18.3%減）であります。

②創薬事業

ジョンソン・エンド・ジョンソンの医療用医薬品部門であるヤンセン・バイオテック社とライセンス契約を締結し、当社のキナーゼ阻害薬プログラムから創出された化合物の開発・商業化に係る全世界における独占的な権利を供与しました。その対価として、当社は当第2四半期において、契約一時金を売上高に計上いたしました。さらに、画期的なキナーゼ阻害薬の創製を目指し積極的に研究開発を推進してまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の創薬事業の売上高は、614百万円（前年同四半期は売上高の計上なし）、営業利益は401百万円（前年同四半期は315百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	1,221	2,495	1,274
純資産（百万円）	830	2,133	1,302
自己資本比率（%）	67.2	85.2	17.9

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,495百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,274百万円増加しました。その内訳は、現金及び預金の増加519百万円、売掛金の増加613百万円、投資有価証券の増加170百万円等によるものであります。

負債は362百万円となり、前連結会計年度末と比べて28百万円減少しました。その内訳は、未払金の減少85百万円、

繰延税金負債の増加50百万円等によるものであります。

純資産は2,133百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,302百万円増加しました。その内訳は、四半期純利益666百万円の計上、資本金の増加251百万円、資本剰余金の増加251百万円、その他有価証券評価差額金の増加119百万円等によるものであります。

また、自己資本比率は85.2%（前連結会計年度末は67.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月28日公表した平成27年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社創薬事業におけるライセンス契約の締結に伴う導出一時金の収益計上並びに当社創薬支援事業における安定的な収益の計上から、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は現時点で存在しないと判断し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（重要事象等）は消滅しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	626,742	1,146,623
売掛金	95,313	708,496
商品及び製品	93,772	90,867
仕掛品	8,167	13,290
原材料及び貯蔵品	17,261	15,452
その他	66,331	46,659
流動資産合計	907,589	2,021,390
固定資産		
有形固定資産	52,505	43,575
無形固定資産	2,193	1,822
投資その他の資産		
投資有価証券	241,339	411,759
その他	17,818	17,109
投資その他の資産合計	259,157	428,868
固定資産合計	313,856	474,266
資産合計	1,221,446	2,495,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,343	650
1年内返済予定の長期借入金	38,928	38,928
未払金	107,707	22,278
未払法人税等	7,073	49,908
その他	37,504	24,549
流動負債合計	195,558	136,315
固定負債		
長期借入金	121,948	102,484
繰延税金負債	47,458	97,794
資産除去債務	24,677	24,923
その他	1,575	1,050
固定負債合計	195,659	226,252
負債合計	391,218	362,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,627,070	2,878,662
新株式申込証拠金	—	14,666
資本剰余金	1,445,230	1,696,811
利益剰余金	△3,336,081	△2,669,717
株主資本合計	736,219	1,920,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,954	199,475
為替換算調整勘定	4,764	5,251
その他の包括利益累計額合計	84,718	204,726
新株予約権	9,289	7,940
純資産合計	830,227	2,133,089
負債純資産合計	1,221,446	2,495,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	306,154	1,134,889
売上原価	107,698	118,577
売上総利益	198,456	1,016,311
販売費及び一般管理費	475,860	336,567
営業利益又は営業損失(△)	△277,404	679,744
営業外収益		
受取利息	121	68
補助金収入	24,800	29,240
その他	964	325
営業外収益合計	25,886	29,634
営業外費用		
支払利息	1,169	1,012
株式交付費	120	1,937
新株予約権発行費	-	1,674
為替差損	3,904	57
その他	406	373
営業外費用合計	5,601	5,055
経常利益又は経常損失(△)	△257,120	704,323
特別利益		
新株予約権戻入益	-	2,282
特別利益合計	-	2,282
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△257,120	706,606
法人税、住民税及び事業税	824	40,661
法人税等調整額	△134	△419
法人税等合計	690	40,242
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△257,811	666,364
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△257,811	666,364

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△257,811	666,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,062	119,521
為替換算調整勘定	△1,064	486
その他の包括利益合計	42,997	120,008
四半期包括利益	△214,813	786,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214,813	786,372

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△257,120	706,606
減価償却費	14,137	9,302
のれん償却額	18,154	-
受取利息	△121	△68
支払利息	1,169	1,012
補助金収入	△24,800	△29,240
株式交付費	120	1,937
新株予約権発行費	-	1,674
新株予約権戻入益	-	△2,282
為替差損益(△は益)	2,235	△2,233
売上債権の増減額(△は増加)	41,726	△612,367
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,506	△310
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,196	△3,654
未払金の増減額(△は減少)	4,192	△85,232
その他	485	35,575
小計	△209,523	20,718
利息の受取額	141	63
利息の支払額	△1,139	△993
補助金の受取額	36,112	4,988
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,267	△2,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	△177,676	22,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,930	△133
無形固定資産の取得による支出	△865	△232
その他	24	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,771	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△18,036	△19,464
新株予約権の行使による株式の発行による収入	3,421	494,228
新株予約権の発行による収入	-	6,265
その他	-	14,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,614	495,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,187	1,867
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△235,250	519,880
現金及び現金同等物の期首残高	1,067,570	626,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	832,319	1,146,623

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

株主資本の著しい変動

新株予約権の権利行使により、当第2四半期連結累計期間において、資本金が251,591千円、資本剰余金が251,580千円増加し、この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,878,662千円、資本剰余金が1,696,811千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	306,154	—	306,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	306,154	—	306,154
セグメント利益又は損失(△)	38,126	△315,531	△277,404

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	520,039	614,850	1,134,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	520,039	614,850	1,134,889
セグメント利益	278,660	401,084	679,744

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。